

2008年度
第7回理事会 議事録

日時：3月30日（月）13：30～17：30

場所：上智大学 四ッ谷キャンパス 2号館 2-630a

出席者：山本、赤堀、上杉、太田、鏡味、春日、岸上、葛野、窪田、栗田、桑山、坂井、佐々木、
須藤、鷹木、名和、松田、吉岡

委任状提出：瀬川、和崎 欠席者：大塚、関根

[承認事項]

1. 2008年度第6回理事会議事録

- ・前回（2008年度第6回）理事会議事録を承認。

2. 新入会員の承認

- ・新入会員（2名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。

3. 『文化人類学事典』誤植への対応

- ・総務会・編集幹事会が作成した『文化人類学事典』誤植への対応に関する原案が持ち回り理事会（メーリングリストによる理事会）にて承認されたことを受け、以下の対応を行ったことを資料に基づき報告。

①学会HP、学会メーリングリストを通した誤植の報告とお詫び。

②丸善出版に対する誤植の確認、謝罪の要求、誤植訂正の要望書の送付。

また、②の要望書に対して、丸善出版から学会宛に謝罪文が届いたことを報告。

4. 神奈川大学常民文化研究所の共同研究拠点化要望書の送付

- ・前回理事会で総務会へ一任することが承認された神奈川大学常民文化研究所の共同研究拠点化に関する要望書を、2月19日付で送付したことを報告。

5. 『人類科学』掲載論文の転載許諾

- ・『人類科学』第23集（1970年度九学会連合年報、1971年刊）に掲載の保仙純剛「与那国島におけるビジュアルに関する田植え儀礼」について、与那国町史編纂委員会事務局・与那国町役場より「町史第三巻 与那国島 民俗編」（仮題）（2009年8月刊行予定）への転載許可願があった。本学会で著作権を保有していないものの、かつて本学会が刊行していた著作物であることから『文化人類学』掲載論文等利用許諾基準を準用し総務会で検討を行った結果、著者の許諾があることから転載について異存がない旨の回答を送付したことを報告。

6. その他

- ・SICRI(国際小島嶼文化会議 Small Island Cultures Research Initiative)の後援依頼があったが、学会として普段あまり交流がないことや多数の会員が関与しているわけではないことから、後援依頼を承諾しなかったことを報告。

[報告事項]

1. 庶務理事報告

- ・教員免許専門科目に関する要望書を文部科学省へ3月18日付で送付したことを報告。
- ・2008年度事業報告・2009年度事業計画原案を資料に基づき説明。

2. 会計理事報告

- ・2008年度決算案（2月末仮締め）・2009年度予算計画原案を資料に基づき説明。

3. 総務理事報告

- ・人類学関連学会協議会合同シンポジウム（5月29日開催）を一般公開とし、また、国立民族学博物館との共催とすることについて国立民族学博物館より打診があったことを報告、承認された。
- ・日本学術会議協力学術研究団体の指定通知が2月26日付で届いたことを報告。
- ・日本学術会議より依頼のあった「学術団体における知的財産制度のあり方に関するアンケート」へ回答したことを報告。

4. 広報理事報告

- ・科学技術振興機構（JST）JREC-IN（研究者人材データベース）アンケートへ回答したことを報告。
- ・国立情報学研究所 CSI 委託事業「オープンアクセスとセルフ・アーカイビングに関する著作権マネジメント・プロジェクト（SCPJプロジェクト2）」より依頼のあった「貴学会（団体）刊行誌のオープンアクセスに関するアンケート」へ回答したことを報告。
- ・国立情報学研究所から CiNii での論文公開条件変更の有無について問い合わせがあり、従来通りの公開を継続すると回答したことを報告。

5. 各種委員会報告

- ・『文化人類学』編集委員会：3月30日開催の編集委員会において、*JRCA* 掲載論文紹介の掲載位置を検討したこと、75巻の特集について話し合ったことを報告。
- ・*JRCA* 編集委員会：*JRCA* Vol. 9 の進捗状況および Vol. 10 の見通しについて報告。また、①学会賞受賞論文の学会負担による英訳掲載、②*JRCA* の欧文校閲謝礼を学会員に対して支給できるようにすること、③参考文献の校閲料の予算化について提案を行う予定であることを報告。これらの提案については、総務会で事前に検討することが承認された。
- ・民博連携委員会：国立民族学博物館と本学会の共催一般公開シンポジウム「人類学の挑戦—これまでとこれから」が3月8日に開催されたことを報告。
- ・情報化委員会：各地区研究懇談会の開催案内に関し、情報化委員会へ早めに情報を寄せて欲しいとの依頼があった。
- ・学会歴史委員会：旧民族学振興会所有のデータをできるものから公開していく方針であること、希望者には CD ヘデータをに入れて実費程度の値段にて頒布する方向で作業を進めていることを報告。また、公開不可のデータについては、それをどのように研究に活かすかについて検討する必要があることを報告。
- ・地区研究懇談会担当委員：各地区で開催された研究会および修士論文・博士論文発表会について報告。
- ・『文化人類学事典』編集委員会：初版第2刷の発行が決定したことを報告。なお、誤植への

対応が終了したことから『文化人類学』編集委員会を解散することが承認された。

6. 日本文化人類学会第43回研究大会の準備状況について

- ・佐々木理事より、個人発表の確定や書店の出店受付開始等の進捗状況について報告。今後、JASCA-INFOにて研究大会1日目と2,3日目とで会場が異なることを周知するメールを配信することとした。

[審議事項]

1. 学会賞・奨励賞の推薦候補者の選定

- ・学会賞選考委員会委員長により、学会賞選考委員会による選考結果が報告され、投票の結果、学会賞を内堀基光氏、学会奨励賞を松村圭一郎氏に授賞することが承認された。承認後、授賞理由の文言調整を行い、総務会が授賞理由を最終確認した上で、確定版を作成することが承認された。

2. 『文化人類学事典』(丸善出版)出版契約書

- ・資料に基づき出版契約の内容について検討。特に、原稿料(印税)の配分割合について検討を行ったが、第2刷以降の原稿料の扱い等に不明な点もあるため、総務会が丸善出版に照会の上、次回理事会にて改めて審議することとした。

3. 研究大会に関する運営検討委員会提案の検討

- ・会長より、資料に基づき、査読制の導入、ポスター発表、要旨集のPDF形式での配布等について説明があった。特に査読項目について意見交換が行われ、引き続き調整及び検討を行うこととした。また、査読制の導入については、必要最小限の査読とする方針が確認され、今年度の総会での提案に向けさらに詳細を検討することとした。
- ・研究大会経費余剰金の取り扱いについて審議し、余剰金が生じた場合、学会からの補助金額までは返還可能であることを確認した。

4. 2008年度事業報告・会計報告、2009年度事業計画・予算計画原案

- ・上杉理事より、2008年度事業報告・2009年度事業計画(案)について資料に基づき説明があり、修正があれば上杉理事か事務局へ連絡することとした。
- ・葛野理事より、2008年度決算・2009年度予算案について資料に基づき説明があり、2008年度内の支出があれば3月31日までに事務局へ連絡、支出の全くなかった委員会は理由を葛野理事へ連絡することとした。
- ・葛野理事より、2008年度予算に関し、補正予算の提案があり、承認された。補正の内容・理由は別紙の通り。

5. その他

- ・事務局職員の雇用契約更新について総務会より提案があり、契約更新が承認された。

以上

[別紙] 予算補正の内容及び理由

1. 補正の内容

<補正前>

収入

合計 26,414,377 円

支出

4) 人件費 4,395,600 円

31) 予備費 5,416,777 円

合計 26,414,377 円

<補正後>

4) 人件費 4,585,120 円 (<補正前+189,520 円>)

31) 予備費 5,227,257 円 (<補正前-189,520 円>)

合計 26,414,377 円

2. 補正の理由

2008 年度における事務局員の給与の昇給分、これに伴う賞与、社会保険負担金の増額分を 2008 年度予算の中へ組み込むため。